

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 7 年度切土法面の除草作業機械化による効率化検討業務
業 務 概 要	業務計画 1 式、現場条件・課題の整理 1 式、機械化作業の効率化・省力化検討 1 式、試運転実施計画検討 1 式、模擬現場での試運転確認 1 式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官代理 九州地方整備局 九州技術事務所副所長 緒方 寧 福岡県久留米市高野 1 丁目 3 - 1
契 約 年 月 日	令和 7 年 7 月 1 4 日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名 2 - 4 - 1 2
契 約 金 額	1 6 , 9 9 5 , 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	1 6 , 9 9 5 , 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	九州技術事務所
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 7 年 7 月 1 5 日
履 行 期 間 (至)	令和 8 年 3 月 3 1 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和7年度切土法面の除草作業機械化による効率化検討業務
2. 履行場所 九州技術事務所

3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名2-4-12
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話：092-714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、九州地整管内の直轄道路の維持管理作業で実施している切土法面での除草作業において、道路通行への影響を抑えるため、人力での刈草等の飛散防止対策や車両の交通規制で作業効率が低下する課題を踏まえ、民間技術の改造・組合せにより、道路維持管理作業の効率化・省力化を目指し、急勾配切土法面の除草作業の機械化技術開発を行う業務である。

2) 業務の内容

管内の急勾配切土法面での除草作業の実態把握のため現場のヒアリング等を行い、課題を整理することで要求性能を明確化し、機械化による作業可能な範囲を検討する。さらに課題解決に繋がる民間技術の情報収集、課題に対する作業効率手法の比較検討から解決策の提案を複数行い、その提案の中から活用の可能性のある技術の試運転を行い、急勾配切土法面の除草に適した技術を選出するものである。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が25者であることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を14者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「切土法面の除草作業の機械化技術開発における基本仕様の検討にあたっての留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫、工程計画の工夫が記載されていること、及び評価テーマの「切土法面の除草作業の機械化技術開発における基本仕様の検討にあたっての留意点」に対する技術提案について、評価、検証などの与条件との整合性が高く、提案内容を裏付ける業務実績及びその内容が明示され、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州技術事務所 技術活用・人材育成課長